

広報すぎなみ

Suginami

祝30周年！
「まちの博物館」へ
ようこそ。



支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

{ 11/1 }
令和元年(2019年)
No.2265

ここは杉並区立郷土博物館の古民家です。昔の暮らしを感じられるこの場所で、四季折々の行事を行っています。隣の本館や天沼の分館では、杉並の文化や歴史を、過去から現在に至るまでバラエティーに富んだテーマで展示してきました。より深く、より楽しく“郷土・杉並”を知ってもらいたい。今日も「まちの博物館」でお待ちしています。



今の杉並が、
昔の杉並が、
ここに
ある

特集

郷土博物館を楽しもう！

Contents — 主な記事 —

6・7 | お知らせ 平成30年度の決算報告 9 | 9～11月は杉並区健康づくり推進期間 16 | 陽明文庫名品展 豫楽院近衛家熙の風雅、大田黒公園「紅葉ライトアップ」

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

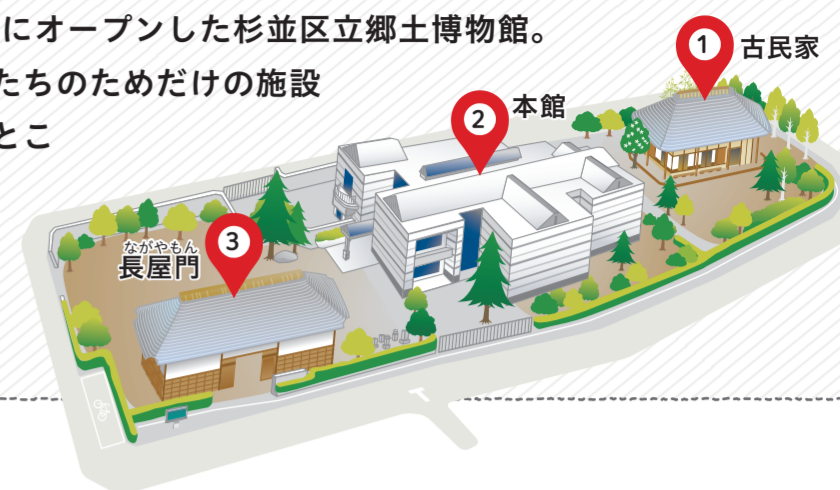
広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

ありがとう!



家族みんなで! 気軽に立ち寄れる「まちの博物館」 郷土博物館を**楽しもう!**

杉並の歴史を、そして今を知るための施設として、平成元年にオープンした杉並区立郷土博物館。5月2日に開館30周年を迎えました。ここは歴史を研究する人たちのためだけの施設ではありません。四季を感じ、昔を懐かしみ、遊び、楽しめるところでもあります。歴史にはあまり詳しくないから…いえいえ、実際に見て体験してみてください。さあ、「まちの博物館」の世界に踏み込んでみましょう。



学芸員・金子さおり

1 古民家

古民家の魅力を私がお案内します!

古民家を楽しむ

博物館に来たらずい見ていただきたいのが、自然に囲まれた江戸時代の古民家。もともと下井草に建てていたものを移築しました。ただ眺めるだけでもなんだかほっとしますが、さまざまな体験もできます。古民家で行われる四季折々の行事を紹介します。



2 本館

展示を楽しむ

特別展・企画展・常設展 ほか

もちろん古民家だけじゃありません。ここは杉並の歴史や文化が集まる場所。重要な史料や文豪たちの足跡を見る・知ることができます。この30年間、ジャンルを超えたさまざまな展示を行ってきました。その一部を紹介します。

「杉並」がまるごと分かつちゃう!

学芸員・大嶋小芳

3月 ひなまつり

桃の節句といえば、おひな様。博物館では個人の方から寄贈いただいた古いおひな様を大切に保管して、3月には古民家の畳の部屋(デエといひます)に飾ります。

その他の春の行事

端午の節句



いつまでも眺めていたいですね。

7月 七夕

古民家の裏で育った短冊や折り紙、吹き流しなどをカラフルに飾ります。古民家と七夕飾りって、とても写真映えがするんですよ。

音遊びも教えてもらおう!

みんなの願い事がいっぱい!



column

さあ、体験してみよう!

土・日曜日、祝日の午後にはいろいろの火吹き体験、石臼ひき体験などができるほか、昔話が聞けることも。メンコやけん玉、お手玉、こま回しなど、昔ながらの遊び道具もあるので、家族や仲間みんなで楽しんでください。

いろいろあるよ!



「昔暮らし」にチャレンジしよう!

11月

昔の農家の暮らし体験

収穫の秋。昔の農具を使って稲の脱穀・精米や、かまどでの米炊きの体験ができます。炊きたてのごはんで作った、ふっくらおにぎりが最高!

その他の秋の行事

十五夜・十三夜、荒神様のおたち・お帰りに

1月 まゆだんご

小正月(1月15日)に、米の粉で作っただんごを木の枝に飾り、豊作などを願います。この「まゆだんご」を実際に作る「博物館教室」も開かれるので、ぜひ参加してみてください。

その他の冬の行事

ヨウカザ、すす払い、餅つき、節分、初午など



▲まゆだんご作り

過去の展示をご紹介します

バラエティーに富んだ特別展・企画展

杉並の歴史、文化から生き物まで!!



ラストエンペラーの実弟に嫁いだ日本人女性の愛と苦悩

特別展「愛新覚羅浩展」(平成2・30年度開催)

現在、郷土博物館が建つ場所(旧嵯峨侯爵邸)から浩は出立し、愛新覚羅溥儀との結婚式の会場に向かいました。博物館では浩が結婚前の心情を吐露した書簡を所蔵するほか、嵯峨侯爵邸時代そのままの「庭石」や、浩ゆかりの「白雲木」を見ることができます。

杉並を愛した文士たち

準常設展「杉並文学館～井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士」(年2回)

井伏鱒二旧宅模型▶



▲「萩窪風土記」の創作メモ

井伏鱒二をはじめとして、太宰治・青柳瑞穂など、杉並にゆかりのある「文士」たちの足跡を年2回、準常設展として紹介。何度も練り直した跡のある井伏の原稿や、愛用品などを眺めながら存分に文学の世界に浸ることができます。最近では、井伏が「萩窪風土記」を執筆する際に参照したと思われる、百貨店の包装紙の裏に貼られた創作メモを初公開し、話題となりました。



企画展「8時だヨ! 全員集合展」(平成29年度開催)

荻窪駅に近い「郷土博物館分館」では、区民参加型展示など、本館とはまた違った魅力的な展示を行っています。平成29年度の「8時だヨ! 全員集合展」は全国的にも話題になりました。

分館で開催しました!

親子一緒に楽しめる

企画展「昆虫展」(平成30年度開催)

夏休み、博物館では親子向けの楽しい展示もっています。平成30年度の昆虫展ではヘラクレスオオカブトに会えるということで、多くの子どもたちが見に来てくれました。



常設展 あなたも杉並ハカセ

常設展示室では3万5千年前の旧石器時代から現代までの杉並の歴史をコンパクトに紹介しています。



現在開催中、またはこれからの展示については、郷土博物館のホームページをご覧ください。(右2次元コードからもアクセスできます)



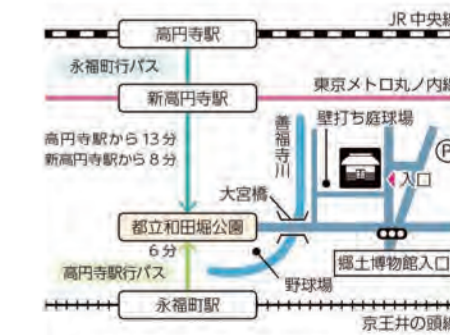
3 ながやもん長屋門



杉並区立郷土博物館 本館

●場所: 大宮1-20-8 ●電話: 3317-0841 ●開館時間: 午前9時～午後5時
●観覧料: 100円(中学生以下は無料)、20名以上の団体は一人80円
●休館日: 毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日・休日の場合は翌日)、12月28日～1月4日
●交通案内: 京王井の頭線「永福町」駅: 北口から徒歩15分、または「高円寺駅」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分。JR中央線「高円寺」駅・東京メトロ丸ノ内線「新高円寺」駅: 「永福町」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分

分館 ●場所: 天沼3-23-1 ●電話: 5347-9801



郷土博物館開館30周年記念特別展は16面をご覧ください!